

高校世界史プリント（過去問類似）

中世（諸地域の交流） No.10

名前

得点

/10

問1 11～12世紀以降の中世ヨーロッパの都市において、市政を独占する商人ギルドに対し、手工業の親方たちが市政への参政権を求めて闘争を展開した。この闘争の主体となった、手工業の親方たちによって結成された職業別の同業者組合を何というか。

（2016年 全国公立入試 類似）

1. ツンフト 2. 商人ギルド 3. 手工業ギルド 4. 同職ギルド

問2 13世紀初頭、ヴェネツィアの商人たちの主導により、本来の目的地であった聖地ではなく、キリスト教国であるビザンツ帝国の首都コンスタンティノープルを占領し、ラテン帝国を建国するに至った遠征の名称として正しいものを答えよ。 （2011年 全国公立入試 類似）

1. 第1回十字軍 2. 第3回十字軍 3. 第2回十字軍 4. 第4回十字軍

問3 11世紀から12世紀にかけての中世ヨーロッパでは、大開墾運動が進むとともに農業技術の著しい進歩が見られた。この時期、牛馬に引かせる重量有輪犁の導入と並んで、耕地を3つの区分に分け、春播き・秋播き・休耕を3年周期で循環させることで、地力の低下を防ぎつつ生産性を向上させた農法を何というか。 （2012年 全国公立入試 類似）

1. 有輪犁 2. 重量犁 3. 三圃制 4. 二圃制

問4 14世紀前半、フランスのカペー朝が断絶してヴァロワ朝が成立した際、自らの母がカペー家出身であることを根拠にフランスの王位継承権を主張し、両国間の長期にわたる大規模な武力衝突の契機を作ったイギリス国王は誰か。 （2020年 全国公立入試 類似）

1. リチャード1世 2. エドワード1世 3. エドワード3世 4. リチャード2世

問5 13世紀初頭、南フランスで勢力を広げていたキリスト教の異端カタリ派を討伐するために、当時のローマ教皇の提唱によって組織され、結果としてフランス王権が南仏へ領土を拡大する契機となった軍事行動は何か。 （2017年 全国公立入試 類似）

1. リヴォニア十字軍 2. ニコポリス十字軍 3. プロイセン十字軍 4. アルビジョワ十字軍

問6 13世紀初頭に教皇権の絶頂期を築き、「教皇は太陽、皇帝は月」と称して世俗の王権に対して優位に立ち、イギリス王ジョンを破門したことで知られるローマ教皇は誰か。 （2013年 全国公立入試 類似）

1. インノケンティウス3世 2. グレゴリウス7世 3. ウルバヌス2世 4. ボニファティウス8世

問7 イスラーム教において、唯一神アッラーが預言者ムハンマドに下した啓示を、彼の死後にアラビア語でまとめ、信徒の信仰生活だけでなく法や社会秩序の根本規範とした聖典は何か。 （2013年 全国公立入試 類似）

1. スートラ 2. バイブル 3. ヴェーダ 4. コーラン

問8 4世紀後半に始まった民族移動の波は、ヨーロッパ各地の政治的・民族的勢力図を大きく塗り替えた。この移動の一環として、5世紀半ばにアングル人やサクソン人などのゲルマン諸部族が北海を渡って定住し、先住民を圧迫してのちに七王国（ヘプタキ）と呼ばれる小国家群を形成した地域はどこか。 （2023年 全国公立入試 類似）

1. ブリテン島 2. コルシカ島 3. キプロス島 4. シチリア島

問9 11世紀から13世紀にかけての中世西ヨーロッパでは、封建貴族の宮廷を中心に世俗的な文化が栄えた。この時期、南フランスのトルバドールやドイツのミンネゼンガーに代表され、騎士の武勇や宮廷風の恋愛をテーマにした叙情詩を歌いながら各地を巡回した、詩人や音楽家を総称して何と呼ぶか。 （2020年 全国公立入試 類似）

1. 写本画家 2. 吟遊詩人 3. 放浪学生 4. 宮廷詩人

問10 イスラーム教を受容した北アフリカの先住民が11世紀に建国した王朝で、サハラ砂漠を越えて南下し、金などの交易で栄えていたガーナ王国を攻撃して衰退に追い込んだとされる、モロッコを拠点としたイスラーム王朝は何か。 （2017年 全国公立入試 類似）

1. ムワッヒド朝 2. ワッタース朝 3. ムラービト朝 4. アラウィー朝

答え合わせ・解説 No.10

問1	答え 4 同職ギルド	中世ヨーロッパの都市では、当初は商人ギルドが市政を支配していたが、13～14世紀になると手工業の親方たちが市政への参政権を求めて「ツunft闘争（同職ギルド闘争）」を起こし、市政への参画を果たした。この同業者組合は、手工業の親方のみが正式な組合員であり、徒弟や職人は排除されていた。
問2	答え 4 第4回十字軍	ローマ教皇インノケンティウス3世の呼びかけで結成された第4回十字軍は、輸送を請け負ったヴェネツィアの意図に引きずられ、エジプトに向かわずにビザンツ帝国の首都コンスタンティノープルを攻撃・占領した。この結果、ビザンツ帝国は一時亡命政権となり、占領地にはラテン帝国が建てられた。
問3	答え 3 三圃制	11世紀以降の中世ヨーロッパでは、農業生産力の向上が社会の活性化を支えた。従来の二圃制に代わり、耕地を春耕地・秋耕地・休耕地に三分して3年で一巡させる農法が普及したことで、休耕地の割合が減少し、食料生産が大幅に増加した。これが人口増加や都市の再興、商業の活発化へとつながった。
問4	答え 3 エドワード3世	フランスでカペー朝が断絶し、フィリップ6世が即位してヴァロワ朝が始まると、イギリス国王エドワード3世は自らの母がカペー家出身であることを理由にフランス王位継承権を主張した。これが、フランドル地方の支配権をめぐる対立などと相まって、百年戦争の勃発につながった。ノルマン朝を創始したウィリアム1世がこの戦争を始めたとする解釈は誤りである。
問5	答え 4 アルビジョワ十字軍	南フランスで普及したキリスト教の異端カタリ派（アルビジョワ派）を制圧するため、13世紀初頭に教皇インノケンティウス3世の提唱で組織された。この軍事行動を通じて、それまで自立的だった南フランスの諸侯領がフランス王権に統合される契機となった。
問6	答え 1 インノケンティウス3世	13世紀初頭に在位したこの教皇の時代に、ローマ教皇権は絶頂に達した。彼はイギリス王ジョンやフランス王フィリップ2世を屈服させ、第4回十字軍を提唱したことで知られる。「教皇は太陽、皇帝は月」という比喻は、世俗の権力に対する教皇権の優位性を象徴している。なお、アナニ事件でフランス王フィリップ4世に捕らえられたのはボニファティウス8世であり、第1回十字軍を提唱したのはウルバヌス2世である。
問7	答え 4 コーラン	アッラーが預言者ムハンマドに下した啓示をアラビア語で記録した聖典は『コーラン（クルアーン）』である。これは単なる宗教的な教理書にとどまらず、ムスリム（イスラーム教徒）の日常生活や社会秩序を規定する法（シャリーア）の最大の法源として機能している。
問8	答え 1 ブリテン島	5世紀半ば、アングル人、サクソン人、ジュート人などのゲルマン人が北海を渡ってブリテン島に定住した。彼らは先住民であるケルト系のブリトン人を圧迫し、ウェールズやスコットランドなどの周辺部に追いやり、島東南部においてのちに七王国（ヘプターキー）と呼ばれる小国家群を形成した。これがのちのイングランドの起源となった。
問9	答え 2 吟遊詩人	11世紀以降、西ヨーロッパの封建社会が安定すると、城館や宮廷を中心に世俗的な宮廷文化が発達した。南フランスのトルバドール（叙情詩人）やドイツのミンネゼンガー（愛の詩人）などは、騎士の冒険や宮廷風の恋愛をテーマにした叙情詩を歌い、各地の宮廷を巡回した。彼らは総称して吟遊詩人と呼ばれる。
問10	答え 3 ムラービト朝	ベルベル人が11世紀に建国したムラービト朝は、厳格なスンナ派改革運動を背景に成立した。モロッコのマラケシュを都とし、北アフリカからイベリア半島にかけて支配を広げた。また、サハラ交易のルートを確保するため南下し、1076年頃にガーナ王国の首都を攻略して同国を衰退に追い込んだとされる。